



■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

⚠警告 …取付けを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

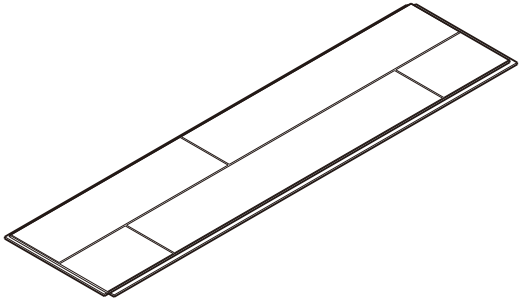
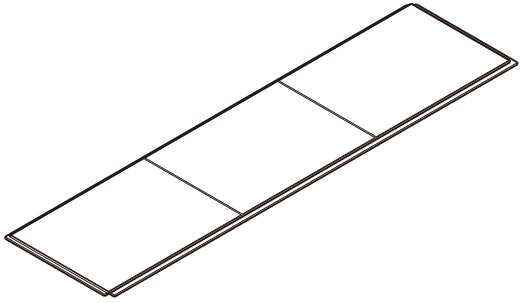
⚠ 警 告

●床暖房装置が施工されている床仕上げ材上には施工できません。釘打ちにより、感電、漏電、漏水、火災の原因となります。

■施工前のお願い

- 本製品は、既存の木質系床材の上に重ね張りする床材です。根太への直接施工や、木質系床材以外の下地(カーペット、クッションフロアー、じゅうたん、直張り工法の床材、畳など)には施工できません。床材が破損したり、床材の浮き、床鳴りの原因となります。
 - 施工前に各部材を必ず検品してください。製品に不具合があった場合は、必ず施工前にお買い上げ店までご連絡ください。施工後の色調不具合・キズなどによる交換は、お受けできませんのでご了承ください。
 - 水がかかったり、直射日光のあたる場所に置かないでください。反り・ねじれなどの原因となります。
 - 本製品は屋内用です。土足で使用する場所や水がかかったり、極端に湿度が高い所には使用できません。濡れた場合は、すぐに乾いた布でふき取り、乾燥させてから養生してください。基材のフクレや反り・ねじれの原因となります。
 - 床材には防虫処理をしていません。必要に応じて躯体、木部及び床材に防虫処理してください。虫による食害のおそれがあります。
 - 本製品は耐水性を高めた床材ですが、常時水に濡れる場所には使用しないでください。基材のシミ、フクレ、変色、くされの原因となります。
 - 張り合わせは3尺ずらしのレンガ張りをおすすめします。
- ※取付け前に仮並べして色・柄のバランスを確認してください。

■部材一覧表

商品名	ハーモニアスリフォーム6	
	木目タイプ	素材タイプ
姿 図		
寸 法	幅：300mm、長さ：1818mm、厚み：6mm	
梱包入数	6枚(3.27m ²)	

■施工に必要な工具・材料

※必ず施工前にチェック覧(□)にチェック(✓)してください。

チェック覧	名 称	チェック覧	名 称
☐	墨つぼ	☐	エアタッカー
☐	かなな	☐	エアコンプレッサー(レギュレーター付)
☐	スケール	☐	ステーブル(10mm×13mm以上)
☐	差し金	☐	シリコン系コーキング材(クリアー色)※水回り施工時
☐	鉛筆	☐	石油ベンジン
☐	やすり	☐	ウエス
☐	丸ノコ	☐	清掃用具
☐	ノコギリ	☐	養生テープ(LZZZZ004)
☐	ジャンボカートリッジガン	☐	養生シート(LZZZZ005)
☐	床施工用接着剤(LZZZZ036)	☐	

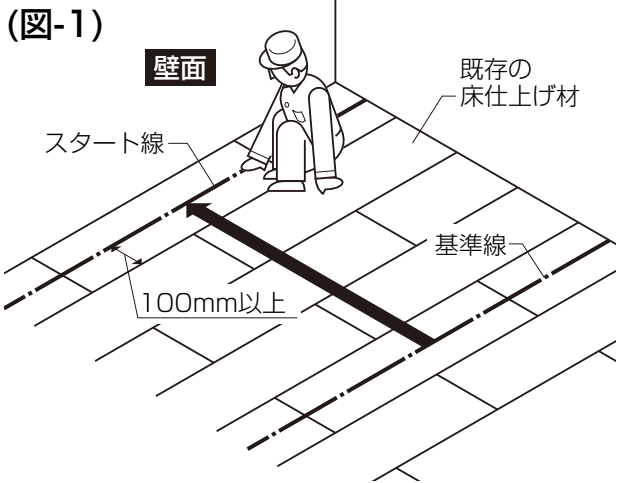
■施工手順

Ⅰ下地の準備

- ①既存の床仕上げ材にくされ、カビ、はがれがある場合は、床仕上げ材を張り替えてください。
- ②既存の床仕上げ材に床鳴り、浮きの発生がある場合は、ねじ止めなどで補修をしてください。
- ③下地の継ぎ目などの段差は0.5mm以下としてください。0.5mm以上ある場合はサンダーなどで調整してください。床材の浮き、床鳴りの原因となります。
- ④既存の床仕上げ材の不陸は1mにつき5mm以内としてください。不陸が5mm以上ある場合は、凸部はサンダーなどで削り、凹部はパテなどで埋めてください。床材の浮き、床鳴りの原因となります。
- ⑤下地表面にワックスを使用している場合はワックスを除去してください。接着不良による床材の浮き、床鳴りの原因となります。
- ⑥床材施工前に下地を掃除し、ごみ、ホコリを取除いてください。接着不良の原因となります。

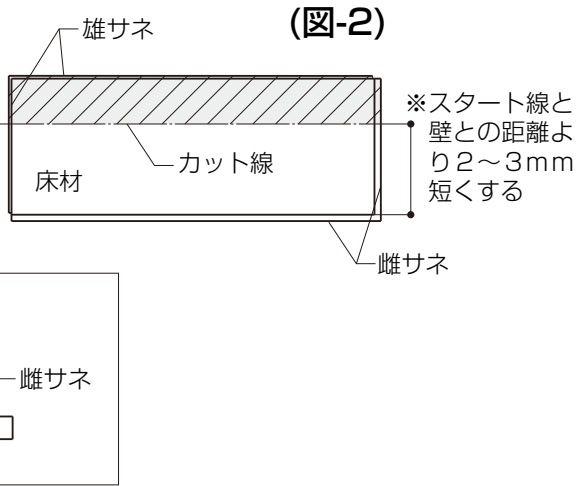
2 墨出し

- ①基準線の墨出しを行なってください。
- ②基準線から300mm間隔で墨出しを行ない、張りはじめのスタート線を決めます。このとき、下地の継ぎ目と床材の長辺方向のジョイント部は100mm以上ずらしてください。ずらさないと段差を生じたり、床鳴りの原因となります。(図-1)

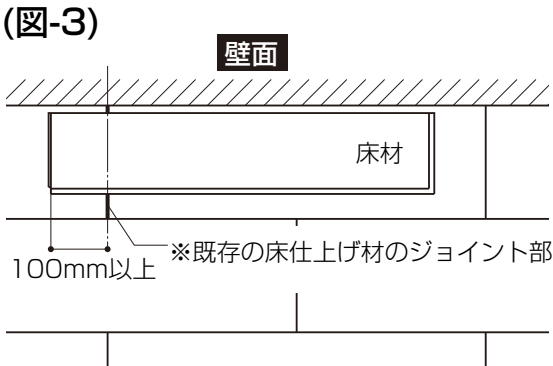


3 張りはじめ

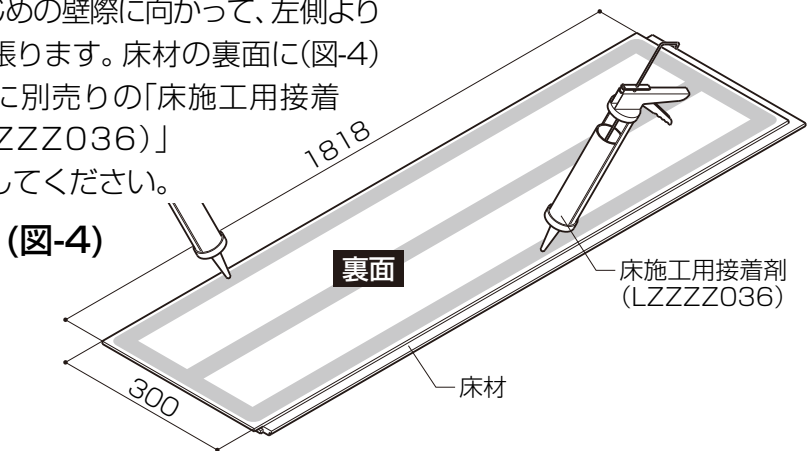
- ①張りはじめの床材は、雄サネ側を切断してください。(図-2)又、スタート線と壁際の距離より2~3mm短く切断してください。



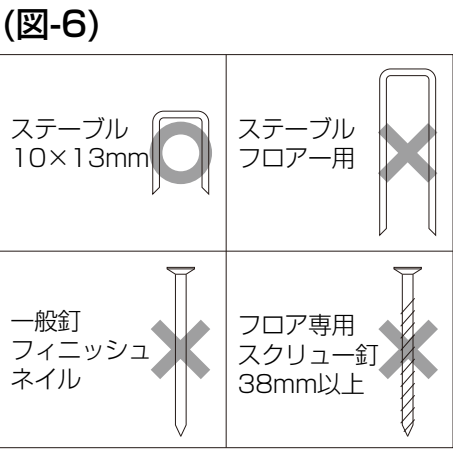
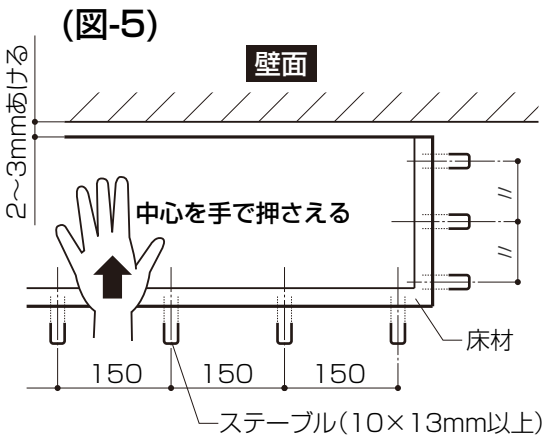
- ②①で切断した床材を仮並べして、床材の短辺方向のジョイント部が下地の継ぎ目と100mm以上ずれるよう割付けを行なってください。(図-3)



- ③張りはじめの壁際に向かって、左側より床材を張ります。床材の裏面に(図-4)のように別売りの「床施工用接着剤(LZZZZ036)」を塗布してください。

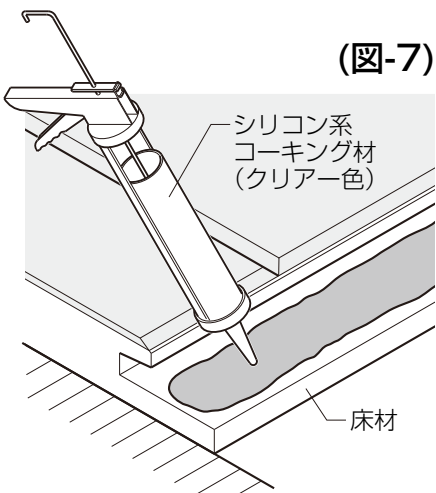


- ④床材と壁際に2~3mmすき間をあげ、長辺方向の雌サネ部分に150mm間隔で垂直にステープル打ちしてください。又、短辺方向にも3箇所固定してください。固定の際は、床材の短辺方向の中心を押えるようにして固定してください。(図-5) ※エアータッカーは「マックス(株)社製のTA-225/1025J」をおすすめします。ステープル(肩幅10mm×長さ13mm以上)を使用し、エア圧を約0.4MPa(10mm×13mm使用時)で固定してください。 ※フロー用ステープル及びフィニッシュネイル、スクリー釘では固定できませんのでご注意ください。(図-6)
- ⑤はみ出した接着剤は、石油ベンジンに布をしみ込ませてふき取ってください。



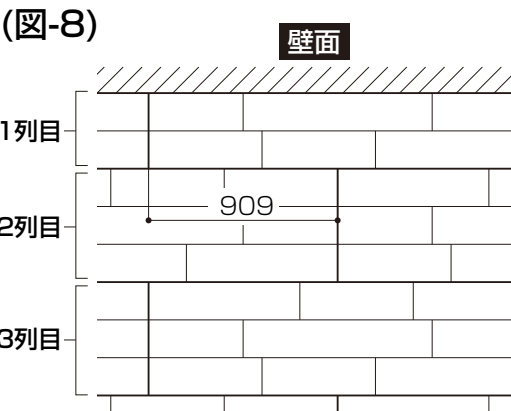
4 水回りへの施工

- ①キッチンなどの水回りへの施工時には、(図-7)のように雌サネ下部にシリコン系のコーキング材(クリア色)を塗布してください。コーキング材のノズルの先端は、3mm程度にカットしてください。
- ②はみ出したコーキング材はすぐにふき取ってください。
- ③配管周りにも床材木口からの結露水の浸入を防ぐため、シリコン系のコーキング材を塗布してください。



5 2列目以降の施工

- ①2列目以降の床材は3尺ずらしのレンガ張りを行ない、床材のジョイント部が重ならないようにし、1列目と同様に張込んでください。(図-8)
- ②床材の寄せ、はめ込みは当て木を使用してください。又、サネ部はたたき込みすぎないようにしてください。サネが割れたり、段違い、床鳴りの原因となります。



6 張り終い

- 張りはじめ同様に、壁際までの距離より2~3mm短く切断し、2列目以降同様に施工してください。

■施工後のお願い

- 施工後、製品に同梱の「ご愛用のしおり」をお施主さまにお渡しください。
- 施工後、床上で作業する場合は、木くず、ゴミを取除き、養生シート(LZZZZ005)などで養生してください。養生シートの固定には、別売りの養生テープ(LZZZZ004)をご使用ください。市販のガムテープなどは、粘着力が強いため、表面材のハガレの原因となります。
- 汚れのひどいときは、固く絞った濡れぞうきんでふくようにしてください。その後、乾いた布でふいてください。
- この床材は表面に汚れが付着しにくいよう、特殊処理を施していますのでワックスがけは必要ありません。お客様のご都合でワックスがけをされる場合は、リンレイ社の「ハイテックフローリングコート」をご使用ください。他のワックスを使用すると、不具合の原因になります。
- ワックスがけをされますと、表面がワックスの性能になり、本来の性能を損なう場合があります。
- ワックスご使用の際は直接床にまかないでください。表面フクレや突上げの原因になります。ワックスのまき塗りによる不具合は責任を負いかねますのでご了承ください。
- ワックスの使用方法を誤ると床材に異常をきたす場合がありますので、その他の使用方法についてはワックス容器記載の使用方法をよくお読みください。
- ワックスはくり剤および溶剤(特にシンナーなどのトルエン・アセトン類を含むもの)は使用しないでください。床材を傷める原因となります。
- この床材は表面に特殊処理を施していますので、指定ワックス以外のコーティング処理を行った場合、コーティングがはがれる場合があります。指定ワックス以外のコーティング処理により生じた不具合については責任を負いかねますのでご了承ください。